

各位

2022年2月24日



顕彰・研究助成対象者決定のお知らせ

2022年2月24日午前10時より、「古川医療福祉設備振興財団 第9回顕彰・第8回助成対象者」を決める選考委員会が開催され、下記の通り決定いたしました。

■顕彰対象者（団体・個人）

1. 特定医療法人仁真会 白鷺病院 理事長 山川 智之 様

顕彰分野 社会活動

顕彰内容 東日本大震災時、日本透析医会常務理事として日本透析医会災害対策本部の実務を指揮し、「透析難民」の透析治療確保に中心的役割を果たした。2012年には日本透析医会災害時透析医療対策委員会の委員長に就任し、透析医療における災害対策の中心的役割を担い、2016年の熊本地震等においても精力的に対応しており、災害時における透析医療の問題に指導的役割を果たした。

2. 認定NPO法人 マギーズ東京 様

顕彰分野 社会活動

顕彰内容 「第二の我が家」をコンセプトに持ち、訪問看護のプロとがんの経験者の両方の視点で運営している。家庭的でくつろげる心地よい建物・空間に、がんに詳しい看護師・心理士が常駐し、友人のように関わることで患者がくつろぎ、自分の力を取り戻す環境整備を実現している。オープン以来4年間で見学者を含め2万3千人を超える来訪者があり、専門職常勤5名、非常勤6名で予約なし、相談料は無料の原則を貫いている。がんに影響を受けた人々への相談支援の質の向上のためにそのエッセンスを広く提供している。

3. 医療法人社団慶成会 青梅慶友病院 様

顕彰分野 社会活動

顕彰内容 初代理事長 大塚宣夫氏が青梅慶友病院を開設し、当時では新しい考え方である患者中心の高齢者医療を実践し、先端的な心身両面からのケアのあり方として注目されていた。明確な理念のもとにケアを行い、継続的な病院スタッフの教育と伝承により、患者と家族から喜ばれる高齢者（終末期）医療とケアを利用者満足度の高いレベルで実現している。2010年に現理事長の大塚太郎先生に引き継がれ、当初の理念を継承しつつ更なる利用者サービス向上へ努力している。その結果、全国の療養型病院の関係者が見学に訪れる高齢者（終末期）医療の模範的事例となっている。

4. 一般財団法人竹田健康財団 理事長 竹田 秀 様

顕彰分野 社会活動

顕彰内容 1928年に内科医院を開設し、地域医療全般を担いながら1000床を越す病院を運営された。その後、一般財団法人竹田健康財団へ移行後、地域社会の構造変化を捉えて機能再編を図り、病床を適切にダウンサイズするとともに介護関係や保健活動も活発に行い、新生児から高齢者まで、健康診断から先端医療まで文字通り住民の健康を守る健康財団として活動を指揮してきた。また日本病院会をはじめ各種医療提供団体や医療関係学会などにおいて講演し、次世代の育成にも力を注いでいる。

さらに近年は会津若松市と連携して「財団法人スマートシティ会津若松」の立ち上げに参加し、現在は理事長として医療・介護から生活・産業も含めた地域復活と隆盛に活動の範囲を広げている。

5. 株式会社共同建築設計事務所 代表取締役 鈴木 慶治 様

顕彰分野 社会活動

顕彰内容 共同建築設計事務所において病院設計の活動をしているが中でも精神科病院の専門設計家として長く県立から民間まで種々の精神科病院を設計してきた。患者の人間としての療養生活確保を中心に、診療の内容をよく理解して新しい診療空間を生み出している。その結果、建築として多くの評価を受けるばかりでなく病院側からも高い評価を受けている。患者の動きやすい空間づくり、また、生活空間と治療上必要な拘束空間を巧みに分離し、半分離のような空間も生み出すことで診療のしやすさも追及している。

6. 南医療生活協同組合 様

顕彰分野 社会活動

顕彰内容 1959年の伊勢湾台風の際に全国から医療援助を受けたことを契機に、市民が自ら医療を立ち上げ、その後に医療から介護・福祉、健康、まちづくりへと37事業に発展させてきた。地域のいのちから生活までを守る組織として地域包括ケアを文字通り実践している。また2010年に移転新築した施設は病院・介護施設・助産所・病児保育室・健診・フィットネス・交流館・レストラン、さらに市民が自由に利用できる広場を設けるなどまちづくりの拠点となっている。建築の理解も深く2010年に移転新築した病院は日本医療福祉建築協会の医療福祉建築賞を受けた。

■研究助成対象者

1. 市立伊丹病院 医療技術部専門技術担当・主査 臨床工学技士 湊 拓巳 様

・スマートグラスを利活用した医療機器保守管理支援に関する研究

2. 関西医科大学くずは病院 リハビリテーション科 理学療法士 村岡 秀映 様

・人工膝関節置換術後患者におけるトレッドミル上での異なる歩行速度での筋電図学的・運動学的指標の変容—歩行速度低下の様相を捉えることを目指して—

3. 大阪大学医学部附属病院 臨床工学部 臨床工学技士 村辻 雄大 様
・植込型補助人工心臓機器トレーニングにおける完全遠隔化システムの構築
4. 青森中央学院大学 地域マネジメント研究所 研究員 阿部 光 様
・地方都市における疾患・プログラムに対応した精神科通所施設の治療環境に関する研究

■ 顕彰・研究助成選考委員一覧

委員長	河口 豊	滋慶医療科学大学大学院 特任教授（工学博士）
委員	大垣 昌之	社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 リハ技術部 部長
委員	小松 正樹	アイテック(株) 特任顧問
委員	田中 一夫	(株)病院システム 代表取締役社長
委員	早川 澄	元 酒井医療(株) 代表取締役社長
委員	細入 誠一	(株)HEW 研究所一級建築士事務所 代表
委員	松田 暉	医療法人嘉健会 思温病院 特別顧問
委員	山崎 敏	トシ・ヤマサキまちづくり総合研究所 代表取締役
委員	山下 信一	(株)山下 代表取締役社長
委員	山本 行俊	(株)システム環境研究所 取締役相談役
委員	吉田 靖	滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科 教授

※直近の社会情勢を鑑み、例年開催しておりました「顕彰表彰式及び助成金贈呈式」は中止とさせていただきますこととなりました。

■ 本件に関するお問い合わせ先

一般財団法人 古川医療福祉設備振興財団 事務局

上月（こうづき） 直樹

〒565-0853 大阪府吹田市春日 3-20-8 TEL: 06-6369-0130